



伊東 佳彦 応用理学部門（地質） 勤務先：(独)北海道開発土木研究所

TEL (011)841-5597 E-mail : yos-ito@ceri.go.jp

地質研究室では、地すべり・岩盤崩落などの斜面对策、ダム地質評価、地下水開発、ズリ処理、路床評価など、防災、土木地質、資源、環境等に係る様々な案件について検討を行っています。また、中期計画としては平成13年から5年間の予定で、下記の5つのテーマに沿って研究を進めています。

①地質調査・計測システムの合理化に関する研究、②危険斜面抽出手法の開発に関する研究、③岩盤風化が構造物及び環境変化に及ぼす影響に関する研究、④岩盤崩落監視システムに関する研究、⑤岩盤内地下水挙動に関する研究

これらの研究テーマは斜面对策を睨んだ研究が中心となっており、当然、平成8年の豊浜、平成9年の第2白糸での岩盤崩壊等を教訓としたものです。しかし、これら2件の岩盤崩壊の記憶が風化する暇もなく、この3年間に限っても北見市北陽の土砂崩落（平成13年10月、死者2名）、えりも町の斜面崩落（平成16年1月、死者1名）と、貴重な人命を奪う悲しい斜面災害が発生しています。また、人命を奪うまでには至らないものの、道路面等に岩塊や土砂が到達する斜面崩壊が毎年のように発生し、冷や汗をかいています。斜面の平準化は地質的な長い目でみれば避けられない自然現象であり、それらを巧く回避、あるいは対策することの難しさを、いつも痛感しながら研究を行っています。



次号は、高井和彦さん（農業部門）



奥田 卓 上下水道部門（下水処理） 勤務先：(株)日水コン 北海道支所

E-mail : okuda_t@nissuicon.co.jp

私の勤務する(株)日水コンは、上下水道、河川、環境など「水」に関する事業の調査、研究、計画、設計等のコンサルタント業務を行っています。私はその中で、主に下水処理施設（処理場、ポンプ場）の計画および設計に携わっています。

技術士の取得については、情報、教育面で会社の支援体制が充実しており、半分は会社のおかげと思っています。ただ、もう少し資格手当も充実していればいいのですが。

私はいわゆる土木屋です。処理施設の設計では、土木、建築、機械、電気の専門知識・技術が必要ですが、各職種間の調整、工程管理を行うのは、我が社では土木屋の仕事です。新人の頃は先輩技術者に打合せをお願いするのも躊躇しましたが、厳しく鍛えられた今では随分と図々しい物言いができるようになりました。

休日の楽しみは、1歳の子供と遊ぶことと、家族サービスを兼ねて北海道の自然めぐりをすることです。

北海道の下水道普及率は平成14年度において約85%に達し、処理施設は建設から維持管理の時代へと推移しています。また、国の下水道予算の減少、地方財政の逼迫とも相まって土木屋の仕事量は右肩下がりです。私は内地の出身ですが、大好きな北海道をリストラされることのないよう、今後も技術の研鑽と仕事の確保に努めて参りたいと思っています。



次号は、原田哲郎さん（上下水道部門）